

主な特長

CDプレーヤー部

- CDをクリアに演奏できる8倍オーバーサンプリングデジタルフィルター。
- アダプターなしで8cmCDの演奏が可能。
- 強い振動で音とびが起っても、すぐに同じところから演奏を続けるクイックリカバリー機構。

接続したマスターユニットで次のような機能を使うことができます。

- CD内の各曲の最初の10秒ずつを順に聞くことができるイントロ演奏機能。
- 演奏中の曲やCD内のすべての曲を繰り返し演奏するリピート演奏機能。
- CD内の曲を順不同に演奏するシャッフル演奏機能。
- カスタムファイル機能付きのマスターユニットとの接続で、カスタムファイル機能に対応。
- プログラム機能付きのマスターユニットとの接続でプログラム演奏機能に対応。

グラフィックイコライザー部

- きめ細かな音質調整ができる7バンドグラフィックイコライザー。
- ワンタッチでジャンル別の音質が楽しめる7種 (REGGAE, JAZZ, HIPHOP, DANCE, BALLAD, CLASSIC, FLAT) のファクトリープリセットモード。
- 自分だけのイコライザーカーブがつくれる3種類のユーザープリセットメモリー。
- ディスクごとに記憶したイコライザーモードで演奏することができるDSM(ディスクサウンドメモリー)機能。(SOUNDボタンのあるマスターユニットをお使いのとき)
- ソースごとに記憶したイコライザーモードで演奏することができるSSM(ソースサウンドメモリー)機能。(SOUNDボタンのあるマスターユニットをお使いのとき)

スペクトラムアナライザー部

- 刻々と変化する音声信号レベルを、リアルタイムで表示する15バンドスペクトラムアナライザー。
- 車内を鮮やかに演出する6種類のスぺアナ表示パターン。

その他

- 照明色の切り換えはマスターユニットと連動。
- ディスプレイの明るさの切り換えはマスターユニットと連動。(ディマー機能のあるマスターユニットと接続した場合。)
- CDチェンジャーをダイレクトに接続できる、マルチCDシステム対応のソースセクター機能内蔵。

接続するマスターユニットによっては使用できない機能があります。くわしくはマスターユニットの取扱説明書をご覧ください。

主な仕様

CDプレーヤー部	本体寸法	約178 x50 x165mm (幅 / 高さ / 奥行き)
復号化(D/A) ワウフラッター SN比 周波数特性	1bit24方式 測定限界以下 100dB 5Hz-20,000Hz	約178 x50 x149mm (幅 / 高さ / 奥行き) 約1.4kg 取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書(1)
グラフィックイコライザー部	別売りアクセサリ	バスケーブル (RCAピンコード付き) RC-61(1m) RC-62(2m) RCAピンコード RC-63(1m) RC-64(2m) RC-65(5m)
中心周波数	63Hz、160Hz、400Hz、 1kHz、2.5kHz、6.3kHz、 16kHz	
可変範囲	71.2dB	
周波数特性	5Hz-50,000Hz	
SN比(フラット時)	90dB以上	
ひずみ率	0.01%	
利得	0dB	
電源部、その他	電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
消費電流	2A(ディスクローディングまたはイジェクト時)	本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
使用温度範囲	10.0C~+50.0C	
出力端子	バスオーディオ出力端子 バスコントロール出力端子 サブウーファー用ライン出力端子 フロント用ライン出力端子 リア用ライン出力端子	
入力端子	バスオーディオ入力端子 バスコントロール入力端子 音声入力端子	

ご注意

本機の取り扱い

本体表面を傷めないために

本体表面に、殺虫剤やヘアスプレーをかけた
り、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を
長時間接触させないでください。本体表面が
変質・変形したり、塗装がはげたりすることが
あります。

液晶表示について

極端な高温または低温のところでは、表示が
見づらくなることがありますが、故障ではあ
りません。周囲の温度が常温に戻ると、通常
表示にもどります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ず、ヒューズ
ケースに記してある規定容量(アンペア数)
のヒューズをお使いください。規定容量以上
のヒューズや針金で代用すると故障の原因と
なるだけでなく大変危険です。

CDの取り扱い

コンパクトディスクの汚れや、ゴミ、キズ、
そりなどが、音とびなど誤動作の原因となる
ことがあります。いつまでも美しい音で楽し
めるように、次のことにご注意ください。



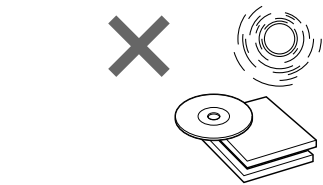
記録面に触れない
ように持つ。



ディスクに紙など
を貼らない。
キズを付けない。

保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度
の高いところには置かないでください。



お手入れ

再生する前に、再生面についたホコリやゴミ、
指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印
の方向へふき取ってください。



ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリー
ナーは使用しないでください。
静電気防止剤なども、逆にコンパクトディス
クを傷めることがありますので、使用しな
いください。

結露について

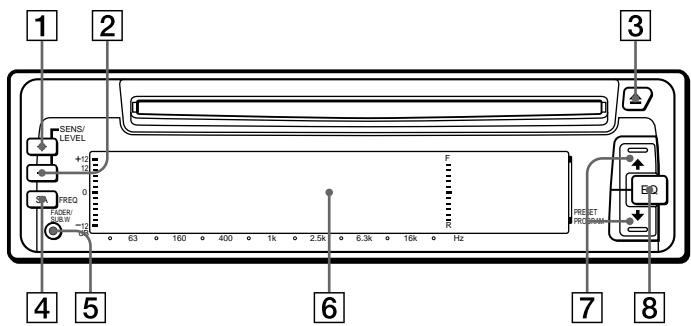
寒いときヒーターをつけた直後など、CD
プレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)
が生じることがあります。このような現象を
結露といいます。
結露したままですと、レーザーによる読み取
りができず、CDプレーヤーが動作しないこ
とがあります。
周囲の状況にもよりますが、CDを取り出し
て放置しておけば、約1時間ほどで結露が
取り除かれ、正常に動作するようになります
。もし、何時間たっても正常に動作しない
場合はアフターサービスをお申し付けくだ
さい。

故障かな？と思ったら

下記の処置を行っても効果がないときは、接
続に問題があるか、故障と考えられます。お
買い上げ店またはお近くのソニーサービ
ス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
CDが入らない。 CDを入れてもすぐに出てくる。	すでに別のCDが入っている。
	CDを誤った向きに入れようとしている。 → レーベル面を上にして入れる。
音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	ディスクがひどく汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。
	ディスクが傷ついている。→ 他のディスクを再生してください。
	本機の取り付け角度が20°をこえている。
音がひずむ。	マスターユニットのBAS、TREBLEコントロールが最大になっている。→ マスターユニットのコントロールで調整してください。
	マスターユニットのLOUDが強調されている。→ マスターユニットのLOUDを切ってください。
メモリーの内容が消えてしまった。	動作電源コードまたはバッテリーをはずした。→ 「取り付けと接続」を参照して接続を確認してください。
スぺアナが全く振れない	+ 、 - を押して、スぺアナの振れ幅を調節してください。
電源が入らない。	接続コネクターが確実に挿入されていない。→ 「取り付けと接続」を参照して接続を確認してください。

各部のなまえ



- 1

(レベル調節) ボタン
- 2

(レベル調節) ボタン
- 3

(CD取り出し) ボタン
- 4

(スペクトラム表示パターン切り換え) ボタン
- 5

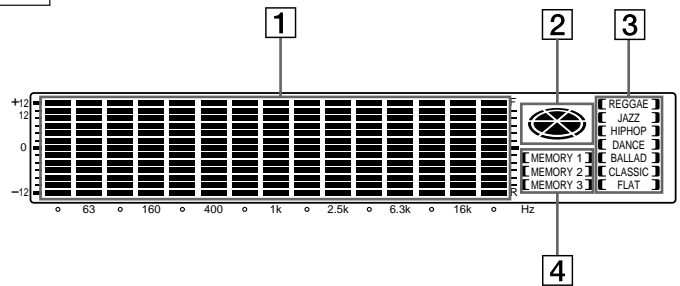
FADER/SUB.Wボタン (お使いになるマスターユニットによっては使用できません。)
- 6

表示窓
- 7

(選択) ボタン
- 8

EQ(プリセットモード切り換え)ボタン

ディスプレイ



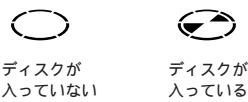
- 1

スピーカ/イコライザーカーブ表示部
- 2

ディスクインジケター
- 3

ファクトリープリセットモード表示部
- 4

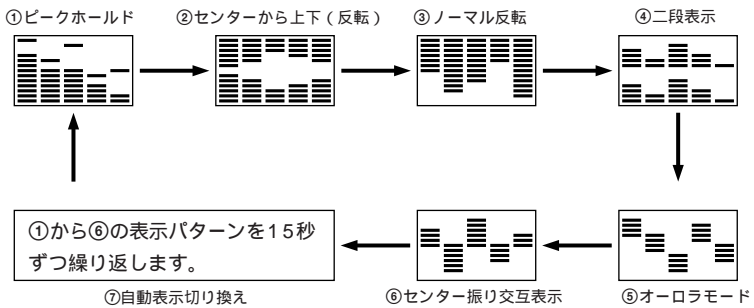
ユーザーメモリーモード表示部



スペクトラムアナライザー

スピーカの表示パターンを変える (スピーカ表示モード)

を短く押す。
表示パターンが変わります。
 を押すごとにスピーカ表示パターンは次のように変わります。



スピーカの振れ幅を変える (入力感度切り換えモード)

、 でスピーカの感度を切り換える。

スピーカの感度は4段階に切り換えることができます。(バー表示が多くなるほど感度は高くなります。)
スピーカの振れ幅は、マスターユニットのVOLUME (出力) に連動して変化します。

CDを聞く

- 1

CDを入れる。
ディスクが引き込まれ、最初の曲から演奏が始まります。
8cmCDの場合はアダプターを付けずに挿入してください。



- 2

マスターユニットで音量を調節する。

すでにディスクが入っているときは
マスターユニットのCDボタンを押す。または、SOURCEボタンでCD再生に切り換える。

最後の曲の演奏が終わると
1曲目の頭から演奏が再開します。
チェンジャーが接続されているときは、次のチェンジャーのディスクの再生に切り替わります。

- ご注意
- すでにディスクが入っているときに、別のディスクをディスク挿入口に入れないでください。故障の原因になります。
- レーベル面を下にしてディスクを差し込むと、傷つくことがあります。

演奏を止める

接続したマスターユニットのOFFボタンを押す。
再びマスターユニットのCDボタンまたはSOURCEボタンを押すと、同じところから演奏が始まります。

本機の を押す。

ディスクが出てきます。
この時、出てきたディスクをそのままディスク挿入口に放置しておくと、ディスク保護のため約15秒後に自動的に本機内に引き込まれます。

ディスクを取り出す

本機の を押す。

メモリー機能

(SOUNDボタンのあるマスターユニットと接続した場合)

前回と同じイコライザーカーブで聞く

(ソースサウンドメモリー) (お使いになるマスターユニットによっては使用できません)

本機は、最後に選んだイコライザーカーブをソースごとに記憶します。途中で音源を切り換えたり電源を切ったりしても、前にその音源を聞いたときと同じイコライザーカーブで聞くことができます。

- ご注意
- ディスクサウンドメモリーを行っているディスクを再生した場合は、ディスクサウンドメモリーで登録したイコライザーカーブに設定されます。

イコライザーカーブをディスクごとに登録する

(ディスクサウンドメモリー) (お使いになるマスターユニットによっては使用できません)

本機は、再生したディスクのイコライザーカーブやサブウーファーの設定をディスクごとに登録することができます。この機能により、特定のディスクをいつも同じイコライザーカーブやサブウーファーレベルで聞くことができます。(登録できるディスクは最大50枚までです。)

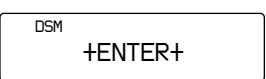
- 1

再生中に を押す。次に (PLAY MODE) を押して「DSM SET」を選択する。



- 2

(ENTER) を短く押す。



登録したイコライザーカーブを変更する

ディスクを再生中にイコライザーカーブを変更します。上記手順1、2の操作を行います。

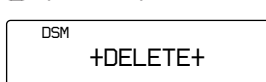
登録したイコライザーカーブを消去する

- 1

再生中に を押す。次に (PLAY MODE) を押して「DSM SET」を選択する。

- 2

(ENTER) を2秒以上押す。





グラフィックイコライザー（接続するマスターユニットの種類によって操作方法が違います。）

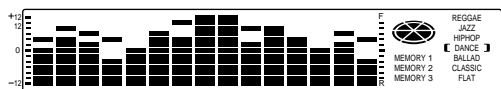
SOUNDボタンのないマスターユニットと接続した場合（本機で操作します。）

プリセットカーブを選択する

7種類ファクトリープリセット*(REGGAE, JAZZ, HIPHOP, DANCE, BALLAD, CLASSIC, FLAT)および3種類のユーザープリセット(MEMORY1, MEMORY2, MEMORY3)の中から、お好みの音質を選んで聞くことができます。

* ジャンル別に適した音質が設定されています。この設定を変えることはできません。

、を押してプリセットカーブを選ぶ。
イコライザーモード表示部が点灯します。



、を押すごとに次のように切り換わります。




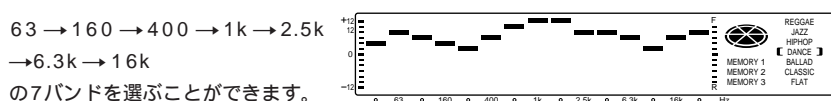
イコライザーを解除する場合は、「FLAT」を選ぶか、本機のを押します。

イコライザーで音質を調節し、登録する（ユーザープリセット）

1 、を押して元になるプリセットカーブを選ぶ。


2 を2秒以上押す。



3 で調節したい周波数を選ぶ。
選択されている周波数バーが点滅します。



4 、で選択した周波数のレベルを調節する。


 強める



 弱める


5 、を短く押し、登録する番号（MEMORY1、MEMORY2、MEMORY3）を選ぶ。

、を押すごとに次のように切り換わります。


MEMORY1 ↔ MEMORY2 ↔ MEMORY3

6 を2秒以上押す。
手順5で選んだ番号に登録されます。


7 を2秒以上押す。
スぺアナ表示に戻ります。
手順6を行わないでを2秒以上押した場合は、登録せずにスぺアナ表示に戻ります。
この時、手順5で選んだ登録する番号（MEMORY1、MEMORY2、MEMORY3）が点滅します。


調節中にを押すと、イコライザーカーブとFLATを切り換えることができます。

フェーダーバランスを調節する

1 を押す。
フェーダー調節モードに入ります。


2 、で前後のスピーカーバランスを調節します。



 後のスピーカーの音量を下げる

 前のスピーカーの音量を下げる

ご注意
マスターユニット側のフェーダーは必ず中央位置に合わせておいてください。


サブウーファーを調節する


1 を2秒以上押す。
サブウーファー調節モードに入ります。

2 、でサブウーファーのレベルを調節します。

 レベルを上げる

 レベルを下げる

3 を押してサブウーファーのカットオフ周波数を選びます。

4 を2秒以上押す。
通常のモードに戻ります。



SOUNDボタンのあるマスターユニットと接続した場合

プリセットカーブを選択する

7種類ファクトリープリセット*(REGGAE, JAZZ, HIPHOP, DANCE, BALLAD, CLASSIC, FLAT)および3種類のユーザープリセット(MEMORY1, MEMORY2, MEMORY3)の中から、お好みの音質を選んで聞くことができます。

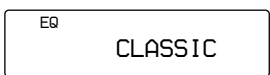
* ジャンル別に適した音質が設定されています。この設定を変えることはできません。



本体側で操作する場合：

、を押してプリセットカーブを選ぶ。
イコライザーモード表示部が点灯します。

マスターユニット側で操作する場合：

1 を押して「EQ」を選ぶ。



2 ボリュームVOLの、を押して（または、ダイヤルを回して）プリセットカーブを選ぶ。
「EQ」を選択後、3秒以内に行ってください。3秒を過ぎると音量調整に戻ります。


プリセットカーブは次のように切り換わります。



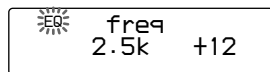
イコライザーを解除する場合は、「FLAT」を選ぶか、本機のを押します。

イコライザーで音質を調節し、登録する（ユーザープリセット）（マスターユニット側で操作します。）



1 「プリセットカーブを選択する」の手順で元になるプリセットカーブを選ぶ。

2 を2秒以上押す。



3 ⑦（←）、⑩（→）を押して周波数を選ぶ。



63 ↔ 160 ↔ 400 ↔ 1k ↔ 2.5k ↔ 6.3k ↔ 16k
の7バンドを選ぶことができます。

4 ボリュームVOLの、を押して（またはダイヤルを回して）、選択した周波数のレベルを調節する。

5 ⑥（ENTER）を短く押す。

6 ボリュームVOLの、を押して（またはダイヤルを回して）登録する番号（MEMORY1、MEMORY2、MEMORY3）を選ぶ



登録する番号は次のように切り換わります。

MEMORY1 ↔ MEMORY2 ↔ MEMORY3


7 ⑥（ENTER）を短く押す。

手順6で選んだ番号に登録されます。

手順7を行わないでを2秒以上押した場合は登録せずに通常の再生モードに戻ります。


8 を2秒以上押す。



通常の再生モードに戻ります。

調節中にを押すと、イコライザーカーブとFLATを切り換えることができます。


フェーダーバランス/サブウーファーを調節する


（マスターユニット側で操作します。）

1 を繰り返し押して調節したい項目（FAD、SUB）に切り換える。


2 ボリュームVOLの、を押して（またはダイヤルを回して）調節する。
調節したい項目を選択後、3秒以内に行ってください。3秒を過ぎると音量調節（VOL）に戻ります。

サブウーファーのカットオフ周波数の調整


1 を押して「SUB」を選択する。

2 を2秒以上押す。
「SUB」を選択後3秒以内に行ってください。3秒を過ぎると音量調節（VOL）に戻ります。

3 を繰り返し押して「SUB」表示を出す。

4 ボリュームVOLの、を押して（またはダイヤルを回して）サブウーファーのレベルを調節する。

5 ⑦（←）、⑩（→）を押して、カットオフ周波数を調節する。

6 最後に、を2秒以上押して設定する。